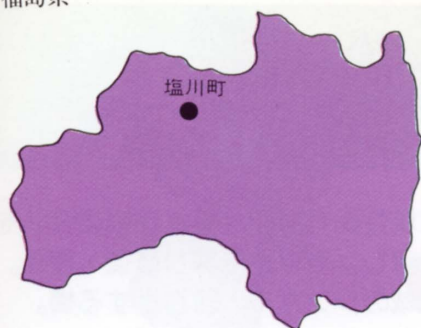




ひがし おお はし
7 東大橋

しおかわまち
福島県 塩川町

柱、照明、高欄、アルコーブに地域性を取り入れる工夫を凝らした橋。「モニュメント実行委員会」からブロンズ像を寄贈。



塩川町は、会津盆地のほぼ中央に位置し、米沢街道の宿駅として発達、阿賀野川舟運の拠点として賑わった。
その東大橋は、猪苗代湖より流れ出る日橋川に架かる、国道二二一号線の橋梁である。
福島県は質の高い公共施設をつくるために、県単独事業として、「文化のためのパーセントシステム」を設けているが、東大橋はこのシステムを活用して昭和六十年に完成している。
橋のデザインは地域イメージをつくり出す工夫がなされ、親柱に蔵のイメージを取り入れ、高欄には町花の「あやめ」をデザイン化、照明灯は昔なつかしいガス灯を想い起こさせる形状をとっている。
歩道部は二か所に張り出しを設け、子どもをモチーフとした彫刻が日橋川の川上を見つめている。

データボード

■所在地

福島県河沼郡湯川村大字
奏～耶麻郡塩川町字
東栄町

■応募者

塩川町役場

☎0241-27-2111